

当時、水を貯めるための場所



モスク

観光客には
無料で貸し出しがある



レバノン料理

中華料理屋にもいきました。ヨルダンに住む日本人は200人と言われており、日本食はあまり見かけなかった。
羊のソーセージ + ナン →



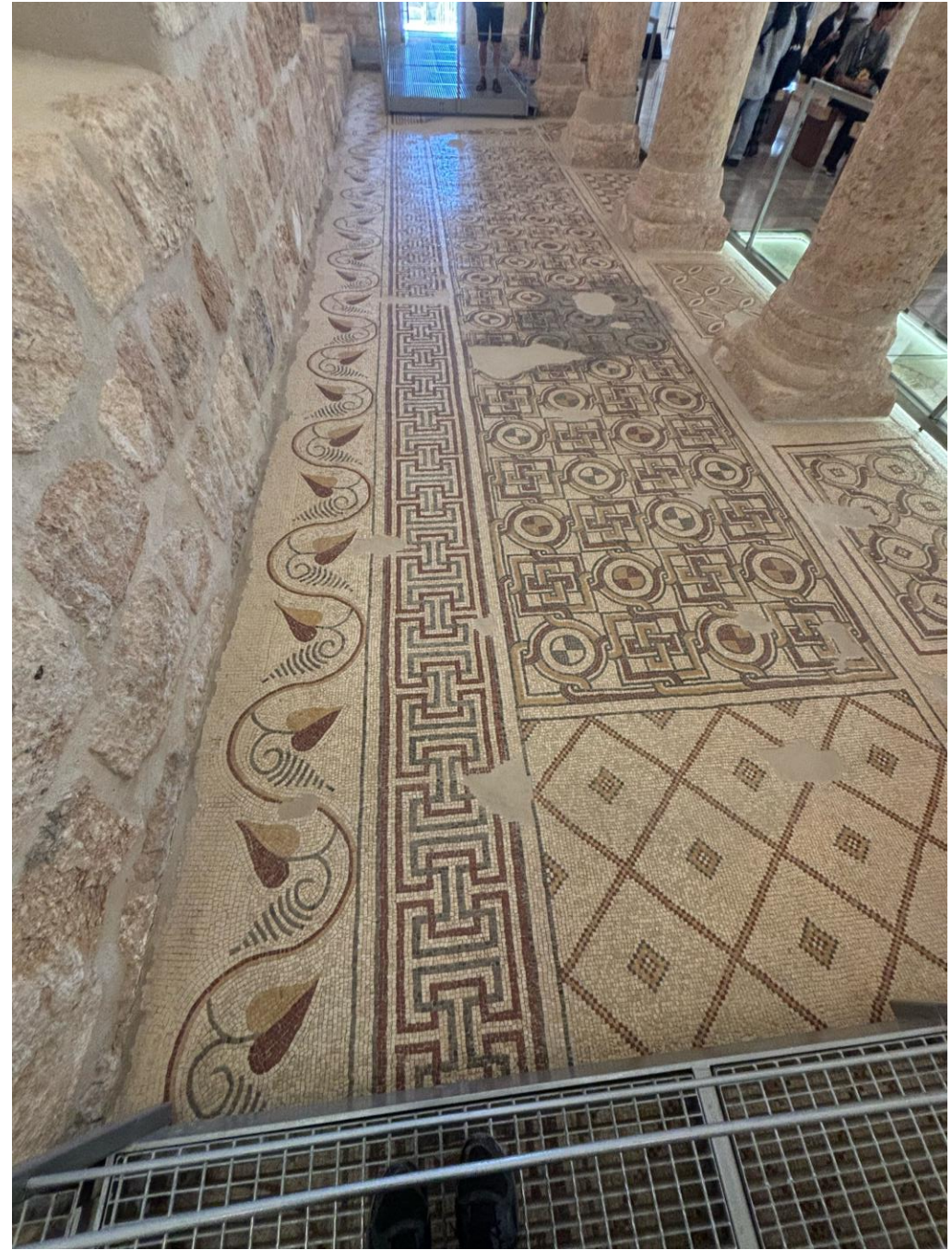
ヨルダン最大のローマ劇場

6000席収容可能！

実は50m高さがあり、上り下りするだけ足が震えます



マダバのモザイク画

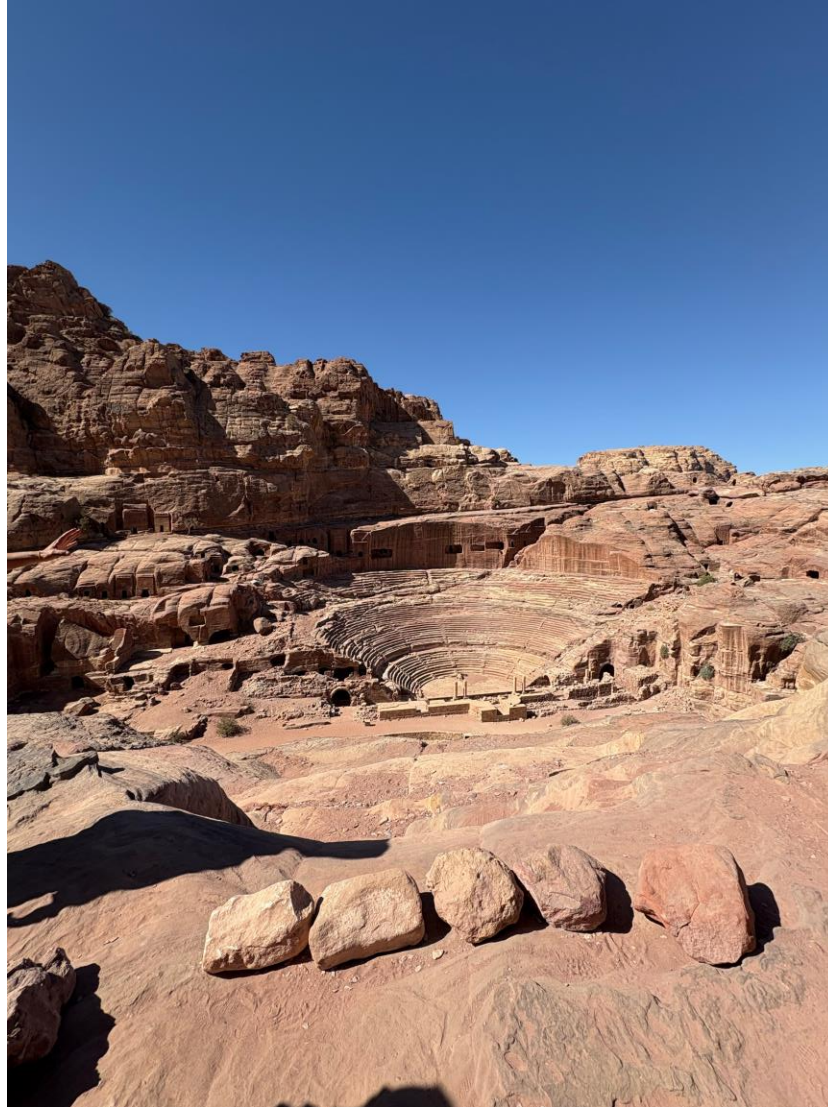


King's Academy の生徒
全校600人のエリート校
敷地内に寮が6つ存在する

あまりにも広大なため自転車移動可能(ヘルメットつけないと指導対象 )
カリキュラムに自習時間がある。自習タイムと夕食後計4時間の自習学習をする
外国で働くことを目指し、英語を流暢に話す生徒が多い
昼食は大勢が食堂で食べる(先生も交じって食べる)
ディスカッションの授業がメイン。ロボット作成やグラフィック授業などあり



ペトラ遺跡
乗馬やカートで移動可



長時間のフライト後、10km遺跡を歩きました



朝5時、礼拝を呼びかける大音量の音楽
(ペトラ)
朝は少し寒い



下は崖。。。



機内食



ヨルダン到着後、初めての食事はドライブスルーで。パクチーサラダ(どんぶり)とパクチーが入ったサンドイッチ 🍀

成田(機内食)

↓

ドーハ(機内食朝)

↓

ヨルダン(機内食朝)

↓

ドライブスルー(朝)



1 JOD = 約200円 ヨルダンディナール
歴代の国王が印字されています



「いただきます」の代表挨拶 を勝ち取ったNさん



10ドルから8ドルに
値引き成功したNさん



全校集会で挨拶するMさん・Nさん 最後に少しアラビア語を混ぜています

左 アンマン市
内でも有名な
山口先生

右 生徒会



帰国前、現地コーディネータ「ムーさん」とお別れ
病院の付き添いや訪問するすべての施設の段取り、さまざまな便宜を1週間に渡りしてくださいました。



研修スケジュールと主な活動内容

- ペトラ遺跡
- JICA
- ヨルダン国立博物館
- ショッピングモール
- アンマン要塞
- ネボ山
- 教会

英語力の伸びを実感した瞬間

- 現地の人と英語で挨拶
- 高校生とSNSを交換し、英語でやり取り
- 帰ったらレイアン先生と早く英語で話したい！ 生徒が言っていました

アンナーク前大使の言葉

- 彼女がこれまで積み上げてきた大きなアチーブメントの礎には、彼女の留学経験（アメリカ1年間）が大きく関与していると言います
- 生徒は海外に行ったことで一つ世界という扉を開けた
- 「留学や研修は期間ではなく、何かを感じることができたらそれで十分なのです。」

生徒一人一人に刺繍入りの鞆をいただきました



食文化の違いと体調管理の工夫

- 就寝前、エアコンを切る(風邪を引きやすい)
- 鼻水や軽い頭痛、腹痛などは早めに薬を飲む、休むことを相談する
- ホテルの食事は、外国観光客もいるため、苦手な食べ物が多い生徒もバイキング形式もあり安心。
- 硬水が一部日本人で合わない人がいる(水に含まれるマグネシウムなどが下痢の原因になる)→預け荷物に日本から数本軟水を持参する
- インスタント味噌汁やスナック(あまりそうならお土産としてあげてもいいかも??)

研修中に意識した安全対策と注意点

- 荷物やパスポートを置きっぱなしにしない
- 食事：テーブルに一人待機させ、場所取り兼荷物の見張りをする
- 貴重品は離さない
- お土産購入時、英語で買うように言いくるめられたら、近くの教員に相談する。もしくは笑顔でthank you.と言ってすぐその場を離れる
- 金額を明確にしてから購入する
- ヨルダンでは値引き前提で、現地では値札がないことが多かった
- 英語で値引きをするのも一つの醍醐味！

ヨルダンに行く前と後での心境の変化

- 「難民」「移民」歴史上、パレスチナ出身人口が多い。現地の小学校ではパレスチナ国旗を落書きする児童も
- ホテルや空港、学校、他にいわゆる「上級国民」になるには英語が必須。ビジネスで英語は必須だが、現地で英語を勉強すると一部冷ややかな目で見られることも。(猫をかぶっているような)
- フレンドリー where you from? Japanだとわかると気さくに話しかけてきます。
- 食事などのホスピタリティー 食べきれない料理が出てくる

挑戦した行動

- 「いただきます」「ごちそうさまでした」毎回ボランティアで募りました
- 訪問時の挨拶は各学校で分担しました
- 1週間保護者がいない中、頑張って早起きをしていました
- 「マルハバ〜(こんにちは)」「シュ克蘭(ありがとう)」現地の言葉で挨拶
- 現地の講義に参加・発言

難しかったこと

- 食事に慣れること(ホテル食は美味しいが、1週間もいると日本食が恋しくなる)
- 英語で質問をすること(恥ずかしさと英語そのもの 2つの壁)
- 体調管理(6時起床 21時ホテル着)スケジュールもつめつめだったので疲労が溜まりやすかった。歩きまくるので歩きやすい運動靴がおすすめ

他校生徒との交流

- 3日目あたりから、お互いに話しかけたり、SNSを交換する場面も
- 仲良くなったが故に、点呼後の部屋移動 **×**

学校生活に活かしていきたいこと

- 時間を守ることの大切さ; 今回特に色々な関係者が絡んでおり、自分自身の行動が及ぼす影響について考えるきっかけになった
- 忘れ物(パスポート・事前の課題・必要な持ち物)
- 質問をする前提で人の話を聞くこと(博物館や国際機関で働く人にインタビューするなど研修中とにかく聞くことが多い→自分から興味を持たないと退屈な時間になるばかりか、聞く態度が悪くなり、失礼な印象を与えかねない。→事前の調べ学習が研修の質に影響する